

(様式3-2)

揭示文書

下記の研究を行います。

この研究では「後向き観察研究」を行います。通常の診療で得られたカルテ・画像・検査・病理所見等の記録を用いて評価します。このような研究は厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規程により研究内容の情報を公開することが必要とされています。また、当院の倫理審査委員会において承認されています。

研究課題名	仙台医療センターで実施した血友病薬害被害者対象の冠動脈スクリーニングの結果に関する検討
研究の主催機関	国立病院機構仙台医療センター
研究責任者	今村 淳治
研究目的	日本の血友病薬害被害者において、冠動脈疾患のリスクが高いという報告がある。当院で冠動脈CTを実施した薬害被害者の結果をまとめ、今後の急性冠動脈症候群発症のリスク低減に向けた情報を発信し、治療に反映する。
研究期間	
研究方法概略	検査結果をもとに吹田スコアで評価し、血圧脈は測定、冠動脈CTの結果と比較する。
個人情報	利用する情報から名前、住所など患者さんを特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、個人を特定できる情報は利用しません。
本研究の資金源	■なし、□あり()
利益相反	■なし、□あり
問い合わせ先	国立病院機構仙台医療センター (感染症内)科 職名(医長) 研究責任者氏名(今村 淳治) 連絡先 tel. 022-293-1111